

2021年度計画

下記日程には一部予定を含みます。

3月	【3月23日(火)】2021年度事業計画説明会開催(オンライン) 大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の事業計画説明(企業・団体向け)
4月	【上旬】受入依頼状等を企業・団体に発送 インターンシップ研修生受け入れの可否及び インターンシップ受入プログラム合同説明会参加の有無について照会 【4月23日(金)】受入可否・合同説明会参加可否回答締め切り 上記案内書類(アンケート等)の回答締め切り
5月	【5月29日(土)】合同説明会開催(オンライン)
6月-7月	【6月下旬】各大学から企業・団体へインターンシップ研修申込書発送 【6月下旬～7月上旬】企業・団体の学生面接 学生の研修希望先での面接
8月-9月	インターンシップ研修
9月	【上旬】研修先企業・団体にアンケート送付
11月-12月	拡大懇談会開催

各大学インターンシップ連絡先

愛媛大学 教育学生支援部就職支援課 〒790-8577 松山市文京町3番 TEL 089-927-9164(直) FAX 089-927-9181 www.ehime-u.ac.jp/	松山大学 教務部教務課 2021年度 事務担当校 〒790-8578 松山市文京町4-2 TEL 089-926-7137(直) FAX 089-923-8920 www.matsuyama-u.ac.jp/	松山東雲女子大学 松山東雲短期大学 キャリア支援課 〒790-8531 松山市桑原3丁目2-1 TEL 089-913-2610(直) FAX 089-931-6402 www.shinonome.ac.jp/	聖カタリナ大学 学生部就職課 〒799-2496 松山市北条660 TEL 089-993-0731(直) FAX 089-993-0717 www.catherine.ac.jp/
--	---	--	---

インターンシップ・ プログラム 実施報告書

大学コンソーシアムえひめ インターンシップ部会

Internship Program
Report2020

ごあいさつ

2020年度のインターンシップ研修実施のお礼および 来年度以降の取り組みへのご協力をお願い

大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会 2020年度部会長 **小林 千悟**

愛媛大学大学院 理工学研究科 教授

地域の企業・団体の皆様におかれましては、平素より大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会の活動に、多大なるご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、インターンシップ研修の実施が危ぶまれておりましたが、愛媛大学からの213名の学生を44事業所の企業・団体様に受け入れていただき、無事にインターンシップ研修を終えることができました。今回、松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・聖カタリナ大学からの学生の派遣は、新型コロナウイルス感染拡大の中で、講義日程が大きく変更となりインターンシップに対する事前教育が実施できないなどの理由により、残念ながら断念せざるを得ませんでした。愛媛大学におきましても事前教育の実施を対面受講型からビデオ遠隔受講型に急遽切り替えるなど、インターンシップ派遣の準備段階から多くの困難がありました。インターンシップの派遣に際しても、感染防止に対する指導を行った後、学生らを送り出しました。

学生らを受け入れていただいた企業・団体様におかれましては、感染防止に十分配慮した安全なインターンシップの実施のために、例年とは異なる研修内容への変更や、リモートでのインターンシップ実施など、事前の準備から研修当日におけるご対応まで、非常に多くのご尽力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。インターンシップ事後アンケート調査結果から明らかなように、各企業・団体の皆様からの温かいご指導により、参加した学生らは業界への理解や就業への明確な目標を見出すとともに、リモートワークのような新たな働き方について学ぶことができました。また、受け入れていただきました企業・団体様から、本インターンシップ事業は大変意味がある取り組みで、次年度以降も継続してほしいとのご希望をいただきました。

今年度の拡大懇談会は12月に、「コロナ禍におけるインターンシップ取り組み事例から考える」と題し、リモート会議形式にて行いました。コロナ禍でのインターンシップの新たな取り組みとして、リモートと対面のハイブリットインターンシップなど様々な工夫を凝らしたインターンシップの事例紹介や体験談の紹介を、受け入れ企業のご担当者様ならびに参加した学生からいただきました。また、リモートグループディスカッションによる意見交換もあり、withコロナ・afterコロナにおけるインターンシップの在り方を考えていく良い機会となりました。

次年度のインターンシップもコロナ禍でのインターンシップとなりますが、大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会では、インターンシップに参画の企業・団体様そして参加する学生の双方にとって安全で有意義なインターンシップとなりますように、インターンシップ申込新システムの導入やオンライン合同説明会など新たな取り組みを行ってまいります。次年度もより良いインターンシップとなるように改善を続けていきますので、今後もご支援ご協力のほど、何卒よろしく願い申し上げます。

これまでの経緯

1990年代初頭にバブル経済が崩壊して以後、「失われた10年」はこれまでの日本型システムの多くを変容させ、特にその当時、新卒学生の就職状況が悪化する中で、フリーターやニートといった若者雇用問題が大きな社会問題となっていました。

そのような中、1997年9月、当時の文部省・通商産業省・労働省の三省は合同で「インターンシップの推進に当たっての基本的な考え方」を発表しました。在学中に就業体験を行うというこれまでの学校教育にはない新しい取り組みが政策レベルで模索され始め、今日では多くの高等教育機関でその実践が展開されています。

愛媛県内の高等教育機関でも独自にインターンシップを教育課程に取り入れてきましたが、無差別な受入要請が地域におけるマッチング秩序を混乱させるという事態が発生しました。2003年、受入先等の要望もあり、愛媛県中小企業家同友会の協力を得て、県内4大学（愛媛大学・松山大学・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学）が中心となり地域における大学生のインターンシップを統一的に運営するため、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」が設立されました。

2009年には、愛媛県内で大学コンソーシアムができ、「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」は「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行しました。しかし、設立当初からの目的や地域の各組織との連携関係を変えることなく、2013年度からは聖カタリナ大学も加え、5大学で発展的に事業を展開しています。

1997年

「インターンシップの推進に当たっての基本的な考え方」が発表される

2003年

「愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会」設立

2009年

「大学コンソーシアムえひめインターンシップ部会」へと移行

2013年

聖カタリナ大学も加え愛媛県内5大学として発展的に事業を展開

インターンシップへの取り組み

愛媛大学

国立大学は、6年ごとに中期目標を定め、その取組を行っています。法人化以後、現在は「第三期中期目標期間」にあり、2016年度よりその期間が開始されています。愛媛大学は、「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学を創造すること」をVisionとしています。大学の戦略として、特に重視されているのが「地域の持続的発展を支える人材育成の推進」です。具体的には「卒業生の愛媛県内就職率アップ」「愛媛大学版汎用的能力の習得率アップ」「卒業生に対する企業等の評価アップ」を掲げ、着実にその成果を積み上げています。

2003年の愛媛県内4大学間インターンシップ連絡協議会によるインターンシップが始まって以後、インターンシップは学内で社会へと移行する学生の成長を支える重要な教育活動として位置づけられてきました。年々学生の参加人数は増加し、これまで累積で3000人ほどの学生にコンソーシアムえひめによるインターンシップを経験してもらったことになります。「第三期中期目標期間」では、学内でのインターンシップの重要性がさらに増しています。

本年度は、これまで経験したことのないコロナ禍の状況において、学生がインターンシップを安心した環境で実施できるように、教職員で知恵を出し合い、様々な取り組みを行いました。これまで対面で実施していたインターンシップガイダンスや事前指導を、Learning Management Systemで受講できるようにしました。また、愛媛大学インターンシップBCPを制定して、学生、教職員、インターンシップ受入先の企業・団体様へ周知し、安全性への意識を高め、有事の際の連絡の徹底を図りました。結果、皆様のご協力を得られて、インターンシップを無事に行うことが出来ました。引き続き、地域に貢献できる資質をもった人材の育成に尽力し、地域と大学の連携を深めてまいります。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

本学では、2003年度より女子大学および短期大学でキャリアサポートセンターを中心にインターンシップ研修を進めて参りました。現在はキャリア支援課において、インターンシップ研修や低学年からのキャリア教育、就職活動に至るまで一貫して支援を行う態勢を整えています。2012年度から2014年度まで取り組んだ文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」では、卒業生や愛媛県内企業等を対象とした産業界ニーズに応える「汎用的能力」に関するアンケートや在学生・卒業生の実態調査を実施いたしました。それらの結果を踏まえ、学生の主体性や課題発見力強化のためさまざまなキャリア支援プログラムに挑戦しています。

また、教育課程内においてもキャリア教育の取組を行っています。女子大学では、様々な社会人を講師に招き、職業について考える「キャリア論」や「ビジネスコミュニケーション」などの科目を配置し、1年次からインターンシップ研修やPBLを取り入れ初年次教育を強化しました。短期大学では、従来から職業に直結する教育を展開して参りました。中でも現代ビジネス学科では、1年次からインターンシップ研修を含む多様なビジネス体験を取り入れた科目を設置し、ビジネス社会に必要な知識・技能の習得を目指した体系的なカリキュラムを展開しています。このように女子大学・短期大学ともに、全学を挙げてインターンシップ研修に取り組み、事前・事後指導の拡充に努めております。2020年度前学期は新型コロナウイルス感染拡大の為、やむを得ず不参加となりましたが、短期大学現代ビジネス学科では、2～3月に独自のインターンシップを実施する予定です。12月に開催された「拡大懇談会」では、オンラインを積極的に活用した取組事例等をお聞きすることができ、コロナ禍におけるインターンシップ研修のあり方を考えるうえで大変参考になりました。引き続き、インターンシップ研修を通して、学生たちに働くことの意味・やりがいなどを学ぶ貴重な機会を与えていただきたくご協力のほどお願い申し上げます。

松山大学

松山大学におけるインターンシップの取り組みは、経営学部において1995年に学生自らが研修受け入れ先と受け入れ交渉を行い、職場研修を行う方式により開始されました。また、経済学部では、1998年に愛媛県中小企業家同友会等の会員企業を中心に受け入れて頂く形で開始され、その後制度が統合され、2002年からは文系学部すべてで実施される全学部共通のプログラムになりました。

さらに、「共通教育科目」の1つであったインターンシップ関係科目が、2012年度からは独立した「キャリア教育科目」として位置づけられ、大学の教育活動の中で、ますます重要なものとなっています。

本学のプログラムは、前期に事前講義の「インターンシップ活用Ⅰ」（全15回の講義）、夏季休暇中の「インターンシップ研修」（実働30時間以上の実務研修）、さらに後期の事後講義の「インターンシップ活用Ⅱ」（全15回の講義）のセットで実施しております。

2020年度は138名の学生が「インターンシップ研修」に参加すべく、前期授業「インターンシップ活用Ⅰ」をオンライン受講しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から夏季休暇期間が大幅に短縮されたため、大学としてやむを得ず「インターンシップ研修」を見送る決断をしました。学生、事業所様には大変ご迷惑をお掛け致しました。そのような中、自らインターンシップ先を開拓し、インターンシップ体験をした学生が多かったことは、私どもを多少安堵させてくれました。2021年度はWeb利用も含めて合同説明会及びインターンシップ研修を必ず実現できるよう準備をしていきたいと考えておりますので、ご支援をお願い申し上げます。

聖カタリナ大学

聖カタリナ大学は、2013年度より大学コンソーシアムえひめのインターンシップ・プログラムに正式に参加させていただいております。2019年度で人間社会学科は7年目、社会福祉学科は4年目を迎えました。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、大学全体として不参加とさせていただきます。2021年度は、引き続き両学科が参加させていただきます予定です。

本学では、就職課を中心とした様々なプログラムに加え、正課科目においてインターンシップ研修のための事前指導を行い、学生が社会人として求められる知識やビジネスマナーを習得できるよう、支援を行っています。具体的な授業内容としては、学科担当教員によるキャリア意識の形成や職業観に関する講義・指導、外部講師によるマナー講習など、就職活動を意識した講義やワークを行っています。本学の支援の特徴は、小規模校の強みを活かした、学科教員による「顔の見える」個別指導にあります。研修後には、各自の学びを『インターンシップ研修報告書』として冊子にまとめるとともに、後学期に研修報告会を開催して、成果の共有と振り返り、学科教員からの指導を行っています。

2019年度は、2学科で44名(34事業所)をインターンシップ研修に送り出すことができました。参加学生は、研修を通じて職場で働くことの厳しさや責任の重さ、自身の甘さを実感したり、他大学の学生から刺激を受けたりしながら、大きく成長することができました。それぞれが就職活動を行い社会に出ていくにあたって、自らの課題や方向性について考える貴重な機会となりました。学生を受け入れて下さった企業・事業所のみなさまには心より御礼を申し上げます。

2020年度 インターンシップ研修報告

今年度は新型コロナウイルスの影響により、予定していた事業計画説明会と合同説明会をやむを得ず中止とし、学生派遣は愛媛大学からのみとなりました。このような例外的な状況の中、学生を受け入れてくださった企業・団体の皆様に感謝申し上げます。

事業計画説明会→中止

受入を検討されている56の企業・団体等にご参加いただき、事業の方針やプログラムを説明、その後は大学関係者も加わり「学生・社員を成長させるインターンシップとは」と題して、「情報交換ワークショップ」を行う予定でした。しかし新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、やむを得ず中止といたしました。

合同説明会→中止

愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、聖カタリナ大学に在籍する学生が参加し、参加企業や団体の個別面談ブースをまわって研修内容の説明を受ける予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、やむを得ず中止といたしました。

拡大懇談会

その年のインターンシップ事業を総括するため、毎年この時期に開催しています。今回は「コロナ禍におけるインターンシップ取り組み事例から考える」というテーマを設定し、オンラインで実施。30企業・団体のご担当者にご参加いただきました。学生1名と企業のご担当者2名からのインターンシップ事例紹介の後、グループに分かれて意見交換を行い、今後の研修プログラムに役立てていくことになりました。

参加者による事後アンケートご回答の一部を紹介します。

- 学生、企業双方の事例紹介があったのでよかった。対面＋オンラインのハイブリッド型のインターンシップとするためのヒントが得られた。
- コロナ禍の中でのインターンシップについての悩みを共有できたので良かった。
- オンラインと対面両方の良さが改めてわかった。
- 他社様のリアルなインターンシップ事例を聞くことができ、大変勉強になった。
- 学生と他社様の事例を聞くことができ大変有意義な時間だった。またグループディスカッションで話し合うことができて大変良かった。
- インターンシップの実施方法やカリキュラムの内容など、非常に参考になる部分が多く為になった。今後の弊社のインターンシップにも活かしていきたい。



3月11日
(水)

4月
【上旬】

インターンシップ受入プログラム
合同説明会への参加の有無とイ
ンターンシップ研修生受入プロ
ラム内容に関するアンケート送付

4月
【中旬】

アンケート等の締め切り

5月30日
(土)

6月
【下旬】

学生の研修申込書を大学から研
修希望先へ送付

7月
【上旬】

研修希望先での面接

8～9月

インターンシップ研修
(合計213名が44の企業・
団体で研修を受ける)

9月
【下旬】

インターンシップ研修生
受入企業へのアンケート
(回収数63/配布数97)

12月10日
(木)

参加者の声

社会共創学部 産業マネジメント学科
産業マネジメントコース3年

ふなはら しょうた
船原 奨太

研修先 愛媛新聞社

私がこのインターンシップに参加した理由は、「情報」の価値を再認識するためです。日々の生活の中で「情報」というのは、昔から変わらない価値を見出していると感じました。そこで、「情報」という数量で測定できない媒体をどう価値判断するのか知ることやある事象を端的に伝える処理能力を学ぶことを念頭に臨みました。

今回の研修では各部署の見学や体験、質疑応答等が多く組み込まれており、新聞1部が完成するまでの過程や事業収益を生み出す仕組みを学びました。中でも研修中に号外が出る場面に遭遇したことが印象に残りました。社員の方々のただならぬ緊張感と腕の見せ所だという高揚感が同時に伝わり、働くことは素敵なことだと肌身を持って感じる事ができました。

この研修を終えて、「情報」の価値を再認識する事ができました。1部約150円で入手する事ができる愛媛新聞ではありますが、そのコスト以上の価値を持っていると感じました。今後も「情報」は重宝され、価値を見出していく媒体であると確信に変わったのがこの研修でした。

昨今の情勢の影響で対面の研修は難しい中、無事に実施して下さった愛媛新聞社の方々をはじめ、就職支援課の皆さんに感謝申し上げます。そして、この研修を今後の就職活動の軸として活かしていきます。



工学部 電気電子工学科
3年

まさおか ひろき
正岡 広暉

研修先 株式会社エヌ・ピー・シー 松山工場

今回、私がインターンシップに参加した目的はいくつかありましたが、大きな理由の一つとしては、実際に社員の方々の生の声を聞いて、仕事とはどういうものかを知りたかったからです。私はアルバイトで仕事はしていますが、周りも大学生のアルバイトが多く、あまり社会にでているという実感がありません。そのため、実際に、会社に入ると、どのような過程を経て仕事ができるようになり、プライベートと仕事の時間の使い分けはどうするのかなど、疑問に思っていることを解消し、今後就活をしていく上での糧にしようと考えました。

私が研修させていただいた会社は機械、電気系の会社でしたが、それらの業務に加えて、事務系の業務も体験させていただき、幅広い業務を体験することができました。そのため、自分が専攻していない分野でもこれは自分に向いているかもというものもあり、視野が広がりました。

今回、インターンシップに参加するにあたって、事前にホームページなどで会社について調べていきましたが、そこでは会社の概要など、数字で表されているものは正確に知ることはできませんが、社風や業務内容の詳細などはやはり行ってみないと分かりませんでした。今回研修させていただいた会社の方々はとても気さくで、私が研修の目的としていた、生の声をきいて仕事はどのようなものかということを知ることができました。ほかにも、この研修に参加することで見えてきたものはあったので、これからの就活に生かしたいと思います。

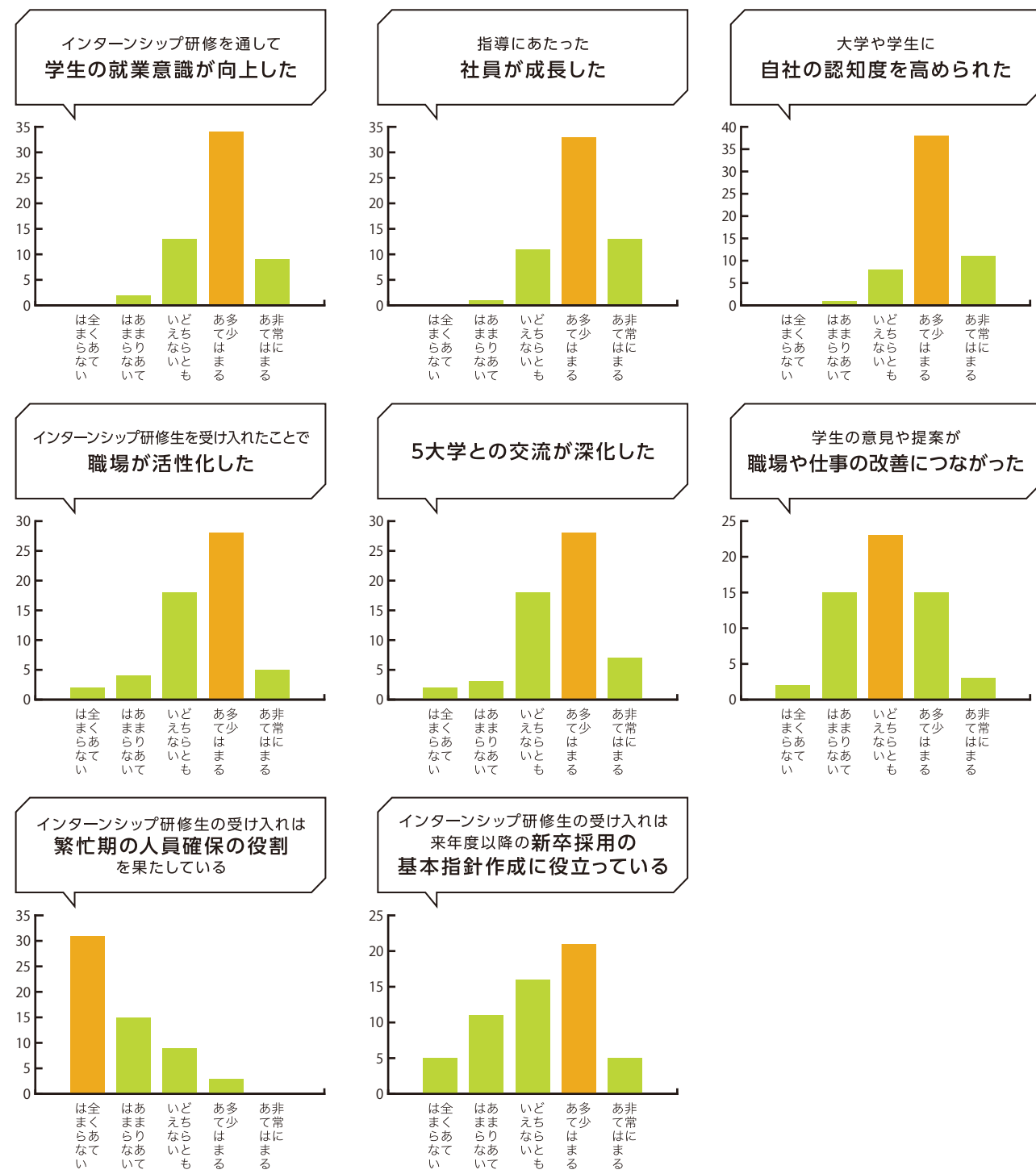
研修生受け入れ企業担当者 アンケート集計結果から

今後のインターンシッププログラムをより良くしていくため、今年度受け入れ表明のあった97企業・団体を対象として、2020年9月から10月にかけてアンケート調査を実施しました。回答数は、63企業・団体でした。

インターンシップ研修生を受け入れていただき、得られた効果としては「学生の就業意識が向上した」「指導にあたった社員が成長した」「大学や学生に自社の認知度を高められた」など、本事業の趣旨をご理解いただきつつ、受入が組織の活性化やPRにも貢献していると、約7割方企業・団体の皆様に感じていただいております。

また、「学生の意見や提案が職場や仕事の改善につながった」点については、「どちらともいえない」の回答数が一番多い一方で、約3割近くからは肯定的な回答が得られています。さらに、インターンシップ研修生の受け入れが「繁忙期の人員確保の役割を果たしている」については、「全くあてはまらない」が約5割、「来年度以降の新卒採用の基本指針作成に役立っている」については、「多少あてはまる」「非常にあてはまる」を合わせて約4割の回答が得られています。このことから、企業・団体の皆様が、学生や若手の指導育成という観点で取り組んでくださっていることが分かります。

今年度、研修生を受け入れていただいた企業・団体の大部分がそのメリットを感じていただき、今後も継続して受け入れる意向を示していただいたという結果から、本事業への理解が進み、定着しつつあるということが読み取れます。



受入企業・団体一覧 (順不同)

1 株式会社アート不動産	23 株式会社ジョイ・アート (坊ちゃん劇場)
2 株式会社アイクコーポレーション	24 住友金属鉱山株式会社
3 株式会社ありがとうサービス	25 株式会社大屋 (ドラッグストアmac)
4 一宮運輸株式会社	26 ツウテック株式会社
5 今治市役所	27 DCMダイキ株式会社
6 株式会社エヌ・ピー・シー 松山工場	28 東芝ライテック株式会社
7 株式会社愛媛CATV	29 トヨタL&F西四国株式会社
8 愛媛県警察本部	30 トヨタカローラ愛媛株式会社
9 愛媛県	31 株式会社日本エイジェント
10 愛媛新聞社	32 ネットトヨタ南国株式会社
11 国立大学法人愛媛大学	33 株式会社ハート
12 愛媛トヨタ自動車株式会社	34 濱田農園
13 愛媛労働局	35 BEMAC株式会社
14 株式会社エフエム愛媛	36 株式会社ビオトープ (biotope)
15 有限会社遠藤青汁	37 株式会社ファインデックス
16 株式会社オートクチュール	38 株式会社フェローシステム
17 月心グループ 株式会社公益社	39 株式会社ホテル椿館
18 NPO法人 西条まちづくり応援団	40 松山市役所
19 株式会社四国中央キャリア	41 松山赤十字病院
20 四国通建株式会社	42 株式会社マルナカ
21 シブヤ精機株式会社	43 株式会社美寿寿
22 ジャスティン株式会社	44 株式会社ゆうぼく

協力団体

大学コンソーシアムえひめインターンシップ・プログラムは一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構 (ジョブカフェ愛work) の協力を得て運営しています。

愛workは
こんなところ！

愛媛で就職するなら、ジョブカフェ愛workへ！

個別相談 (相談方法…対面・電話・WEB)
就職活動についての悩みや疑問、
エントリーシートの添削、面接練習など、
就活の悩みならなんでも相談受付中♪

★各種相談はHPから予約可能！今すぐ「ジョブカフェ愛work」で検索！

面接トレーニング (相談方法…対面・WEB)
面接専門のコンサルタントが
模擬面接を実施！ZOOMでの
面接の練習にも対応！

各種SNS
発信中！

LINE Twitter
就活に役立つ
タイムリーな
情報をUP中！

〒790-0012 愛媛県松山市湊町四丁目8番地13
TEL: 089-913-8686
平日 AM 8:30~PM7:00 土曜日 AM10:00~PM6:00 休日/日曜日・祝日・年末年始
※ジョブカフェ愛workは、一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構が運営しています。